

令和4年9月7日

只見町議会議長 大塚 純一郎 様

経済文教常任委員会
委員長 中野 大徳

経済文教常任委員会所管事務調査報告書

本委員会の所管事務調査事項について、調査経過並びに結果を下記のとおり報告します。

記

1. 所管事務調査事項

- (1) 地域産業の振興に関する調査
- (2) 生活環境の振興に関する調査
- (3) 教育の振興に関する調査
- (4) 観光施設、交流施設の設置目的の検証と利活用に関する調査
- (5) 国道289号八十里越の開通を見据えた利活用に関する調査
- (6) 新型コロナウイルスによる地域への影響に関する調査

2. 調査の経過及び結果

- (1) 調査事項 所管事務に関する調査
- (2) 調査方法 事務調査
- (3) 調査日 6月14日、7月14日、8月18日
- (4) 出席委員 中野大徳委員長、酒井正吉郎副委員長、三瓶良一委員、小沼信孝委員、佐藤孝義委員、矢沢明伸委員

3. 調査結果及び意見

「歳時記会館」の閉鎖の状況や、間近に迫った只見線全線再開通に伴う「只見駅前賑わい創出事業」の進捗状況を現場視察。また、「自然首都・只見」森林資源活用循環モデルの「薪ステーション」の運営方式等については、今後慎重に調査していく必要があると判断した。この事業は町の約94%を森林が占める当町において最重要な案件であると委員会では捉えている。大きな費用がかかることが予想される案件でもあり慎重に調査していく。

以上